

提出締切：2009年4月20日（月）

2008年度 研究の国際化推進プログラム「研究成果の国際的発信強化」 報告書

研究代表者	所属機関・職名： 言語教育情報研究科・教授 氏名： 東 照二
研究テーマ	日本における政治言語の民主化の軌跡

I. 「成果発信」の目的・意義の概要

今回の国際的研究成果発信の目的・狙い、意義・必要性について、簡潔、明瞭に記入してください。

上記研究テーマについて、その研究成果の一部を全米アジア学年次大会（Association of Asian Studies, Annual Meeting）および日本語教育学会セミナーにおいて、日本の政治家とソリダリティー戦略（Japanese politicians and solidarity strategies）と題して、発表した。（2009年3月26日、言語学パネル）

開催日程、開催地：

2009年3月26-29日、アメリカ、シカゴ（シェラトンホテル）

この発表の目的は、政治言語に関する専門家からのフィードバックを得ることにあると同時に、海外の研究者に本研究を広く知ってもらい、ネットワーク化を図ることにもあった。

II. 「成果発信」の成果と今後の展開計画の概要

今回の国際的研究成果発信で得られた成果、目標達成度、今後の展開計画について、ポイントを絞り具体的、簡潔に記入してください。

著名な言語学の専門家であるプリンストン大学牧野成一教授、さらに元日本語教育学会会長であるポートランド州立大学教授パトリシア・ウエッツェル教授など、多くの参加者から有益な示唆、アドバイスを得ることができた。これをもとに、さらに論文形式にまとめ、発表する予定である。

本ページはホームページに公開いたします。1ページに収めてください。